

2007 旭硝子財団 助成研究発表会

7月10日、四ツ谷駅前にあるスクワール麹町において、本年3月に研究期間が終了した全分野の国内助成研究69件の成果発表会を行いました。

当日は朝から夕方までの長時間にわたり、発表者をはじめ関係分野の研究者や当財団の選考委員、他財団からのご来賓など、多くの関係者にご出席頂きました。

冒頭、瀬谷理事長の挨拶に引き続き、伊藤良一選考委員長(東京大学名誉教授)から発表会開催の趣旨説明があり、続いてそれぞれの分野ごとに発表が行われました。

発表形式は、まず最初に講演会場で発表者が順に3分間スピーチを行い、終了後、ポスター会場に全員が移動して、各ポスターの前でディスカッションを行うというものです。

異分野の研究者が大勢集まる機会でしたので、専門外の方々にもわかり易いスピーチをお願いしたところ、多くの先生方が大変に説明を工夫して下さいました。

また、ポスターも見易いものが多く、専門分野の異なる研究者同士が出会い、活発な意見交換を行う、非常に有意義な場となりました。

発表終了後には同じ会場で懇親会が開かれ、発表者や選考委員、ご来賓の方々の交歓が行われました。

今回の発表会では、遠方から宿泊をして参加して下さいました発表者が20名以上いらっしゃいました。ご出席者くださったすべての方々、運営にご協力くださった方々に、改めてこの場で感謝申し上げます。



瀬谷理事長



3分間スピーチ発表会場



伊藤選考委員長



ポスター発表会場



懇親会